

自治体を中心とした多様なセクターの協働

2023年8月30日 BECC JAPAN2023

NPO法人PolicyGarage 加藤優里

PolicyGarageについて

PolicyGarageについて

人間中心のアプローチで、公共政策をよりよくする



人の行動を理解することで
小さな工夫で
望ましい行動を実現



本当に意味（効果）
のある
費用対効果の高い仕事

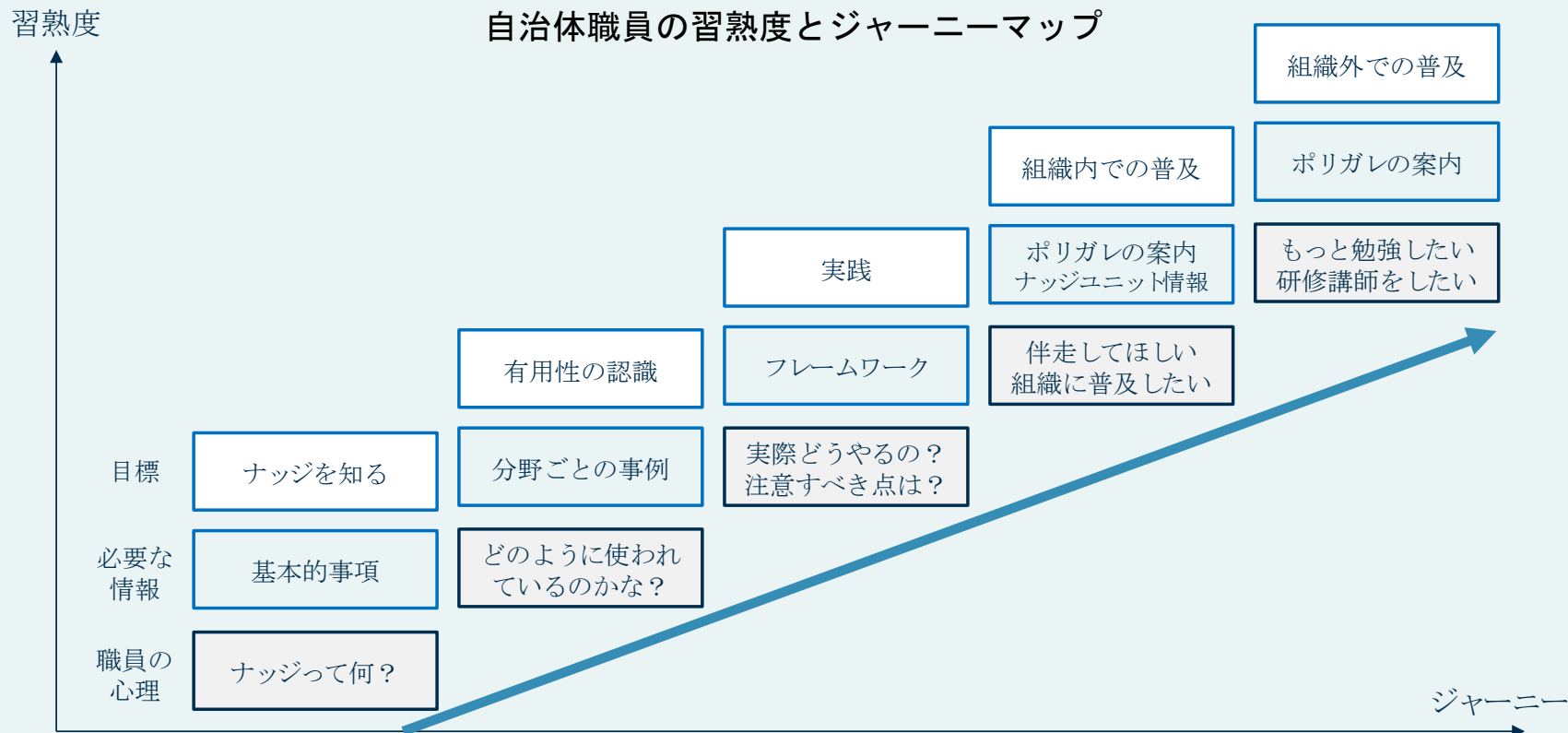


市民の
真のニーズに応える
共感の行政

経緯と現在

- ・ YBiTの成果をベースとして、2021年1月に設立
- ・ 約30名の省庁・自治体・研究機関・学校関係者・民間のメンバーがPolicyGarageの運営を担う
- ・ PolicyGarage コミュニティの関係者は約900名以上に増加
- ・ 設立以降、約100件の相談（研修 / 講義 / ナッジユニット設立支援 / 個別事業支援 / 協業事業 / 執筆など）

自治体職員のステージに合わせた協働



自治体職員のステージに合わせた協働

職員の
心理

ナッジって何？

どのように使われているのかな？

実際どうやるの？
注意すべき点は？

伴走してほしい
組織に普及したい

もっと勉強したい
研修講師をしたい

Policy
Garage
のメニュー

研修・ワークショップ

講演

ナレッジシェア（note記事/ポリガレウェブサイト/研究会）

国内外ネットワーキング（研究会/Facebookグループ/イベント）

伴走型支援

ナッジユニット設立支援

-Case-

岡山市行動デザインStudioの リサイクルボックスシール検討

背景

- 岡山市内の美化推進重点区域では、自販機を設置すると、ベンダーが必ず隣にリサイクルボックスを設置することを義務化している（条例）
- リサイクルボックスにゴミが投入されることが多く、その分、本来入れるべき資源を回収できない
- （一社）全国清涼飲料水協会が、ゴミを投入しにくい新機能のリサイクルボックスを作成し、美化推進重点区域のリサイクルボックス約400個を交換こととなった（費用は市負担、ベンダーへ提供）
- この効果を高めるため、岡山市にてリサイクルボックスに貼るステッカーを検討。加えて、話題性UP、SDGsの側面でのPRも期待

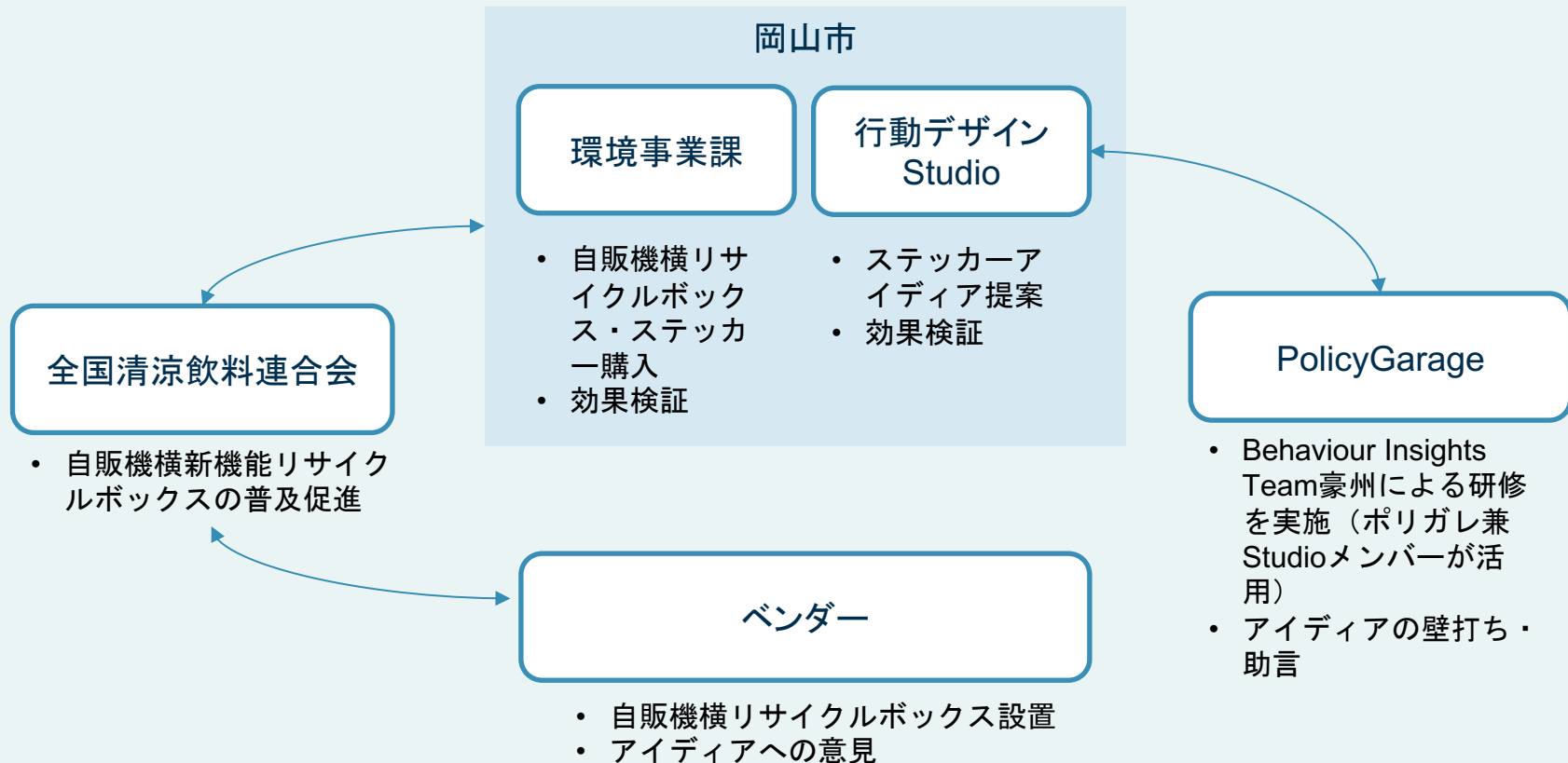


岡山市行動デザインStudio(2023).2022年度岡山市行動デザインStudio報告書.
<https://docs.google.com/presentation/d/1-PPyC7h5DH8HqcBT5ds-AMDLK4EPCfgPMDXh0DrMFcg/edit#slide=id.p>



広島県、一般社団法人全国清涼飲料水協会(2023).令和3年度 GSHIP 新機能リサイクルボックス 実証実験業務 結果報告書
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/477129.pdf>

関係主体



検討プロセス

事例調査

行動プロセス
マップの作成

プロセスマッピング



摩擦と燃料の
特定 (COM-B
モデル)

摩擦と燃料の特定COM-Bモデル)

項目	内容
摩擦	行動の妨げになる要因を特定する
燃料	行動を促進する要因を特定する
COM-Bモデル	行動の発生を促すための要素を特定する

介入方法の
検討 (COM-B
モデル)

介入アイデア
の検討 (EASTフ
レームワークを
参考にブレスト)

アイデアの提
案

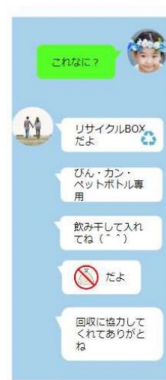
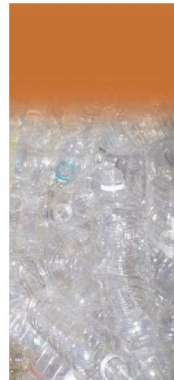
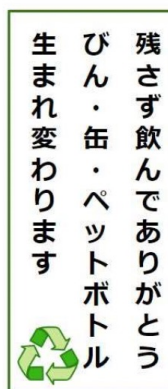
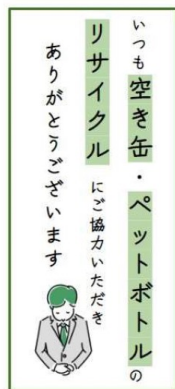
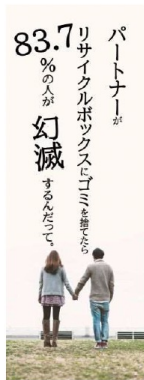
選定されたアイ
ディアをもとにス
テッカー作成

効果検証

介入方法のブレインストーミング

介入方法のブレインストーミング
介入方法のブレインストーミングとは、特定の課題を解決するためのアイデアを生成するためのプロセスです。このプロセスでは、参加者が互いにアイデアを出し合い、それらを評価し、最終的に最適な介入方法を選択します。

提案されたステッカー一案



最終的に選択・作成されたステッカー



考察

25か所のリサイクルボックスをランダムに5つにグルーピングし、5週間リサイクル適正率を計測。
欠損値を除いた123サンプルを分析に使用

	期間1	期間2	期間3	期間4	期間5
グループ1	旧BOX	新BOX +ステッカー	新BOX +ステッカー	新BOX	新BOX
グループ2	新BOX	旧BOX	新BOX +ステッカー	新BOX +ステッカー	新BOX
グループ3	新BOX	新BOX	旧BOX	新BOX +ステッカー	新BOX +ステッカー
グループ4	新BOX +ステッカー	新BOX	新BOX	旧BOX	新BOX +ステッカー
グループ5	新BOX +ステッカー	新BOX +ステッカー	新BOX	新BOX	旧BOX

結果 ー旧ボックス vs 新ボックスー

旧BOX設置と比較して、新BOXを設置した場合リサイクル適正率が9.1%上昇、新BOX+ステッカーを設置した場合は10.8%上昇し、いずれも統計的に有意であった。

リサイクル適正率	係数	P>t	95%信頼区間	
新BOX設置の効果	0.090965	0.026	0.011252	0.170677
新BOX+ステッカー設置 の効果	0.108384	0.008	0.028672	0.188097

※岡山市デザインStudioによる集計

結果 —新ボックス vs 新ボックス+ステッカー—

ステッカーを貼り付けた群に良好な結果が見られるが、統計的な有意差は見られなかった。

	リサイクル適正率	リサイクル適正率2	不適率
新BOX設置の効果	0.090965	0.122505	-9.42172
新BOX+ステッカー 設置の効果	0.108384	0.143915	-12.8066
P値	0.5996	0.3970	0.2744

※岡山市デザインStudioによる集計

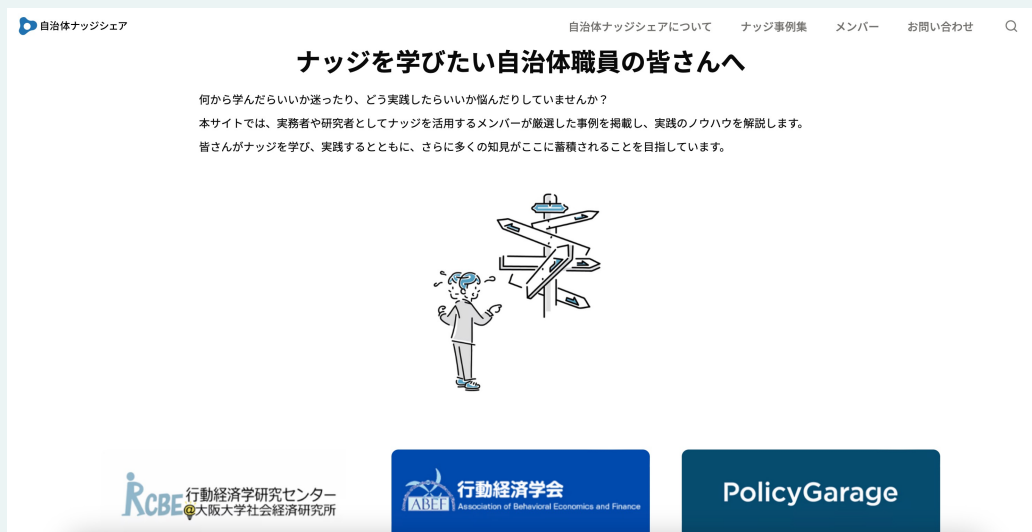
考察

- 新ボックスの設置による効果については統計的に有意に認められたものの、ステッカーを貼ったことによる効果は認められなかった
- 全国清涼飲料連合会が開発したリサイクルボックスは、リサイクルボックスへのゴミの混入に効果があることが分かったため、今後もこのリサイクルボックスへの置き換えを進めるべきと考えられる
- ステッカーについては、今回のサンプルサイズ、期間では、統計的な効果は認められなかったものの、これらステッカーが頻繁に目に入ることによる、長期的な教育的効果を期待する

さらに知りたい方へ

ウェブサイト「自治体ナッジシェア」

実務者（PolicyGarage）とアカデミア（大阪大学社会経済研究所、行動経済学会）で連携し、ナッジの習熟度別に、自治体職員が次のステップに進むために必要な情報を提供するウェブサイト「自治体ナッジシェア」を構築



BECC JAPANとの連携

BECC JAPANとの協働により、環境・エネルギー分野における行動変容に関する情報交換やネットワークを行う場として、オンラインコミュニティ「BECC JAPAN Plus ft. PolicyGarage」を構築。

BECC JAPAN Plus

Threads
Direct messages
Mentions & reactions
Slack Connect
More

Channels

- # 000_はじめにご一読
- # 001_自己紹介
- # 099_事務局からのアナウンス
- # 101_情報交換_event
- # 102_情報交換_technology
- # 103_情報交換_education
- # 104_情報交換_awareness
- # 105_情報交換_insight
- # 106_情報交換_policy

104_情報交換_awareness

Tuesday, 28 June



平山 翔 (住環境計画研究所) 09:34

補助金以上にヒートポンプの採用を促進させる方法は何か？ (国際 (UK), BITウェブサイト, 2022/6/27)

ヒートポンプの採用を加速させるための手法をWEB実験により検証したBITのブログ記事が出ていました。

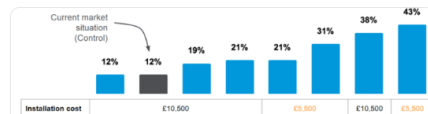
ランニングコスト低下と利子補給が、英国政府の補助金 (£ 5,000) と同程度に効果的であることが明らかになったそうです。

結果からの政策への示唆がなるほどと思いました。

- 無金利ローン提供 (利子補給) は、£ 5,000の補助金支給より政策コストは安いですが、促進効果は同程度であるため、採用を検討するべきである
- ランニングコスト低下も有効であるため、電力料金の課税をガスに転嫁することで、現状の補助スキームを補完できることが示唆された

<https://www.bi.team/blogs/how-can-we-boost-uptake-of-heat-pumps-beyond-the-effect-of-subsidies/> (edited)

image.png



ポリガレと共に挑戦する自治体・団体募集！

<https://policygarage.or.jp>
info@policygarage.or.jp



Thank You

1. 本資料は一般的な情報提供のみを目的としており、専門のアドバイザーによるコンサルティングに代わるものとして使用することはできません。
2. 当社は、本資料の記載項目及び内容につき、正確性、完全性、信頼性その他一切の表明・保証をするものではありません。
3. 本資料の記載項目及び内容は、当社の自由裁量により、撤回、変更、追加がなされうるものであり、当社はこれに拘束されず、一切責任を負いません。